

## 2.2 重点施策

### (1) 今後、重点的に進めるべき施策内容

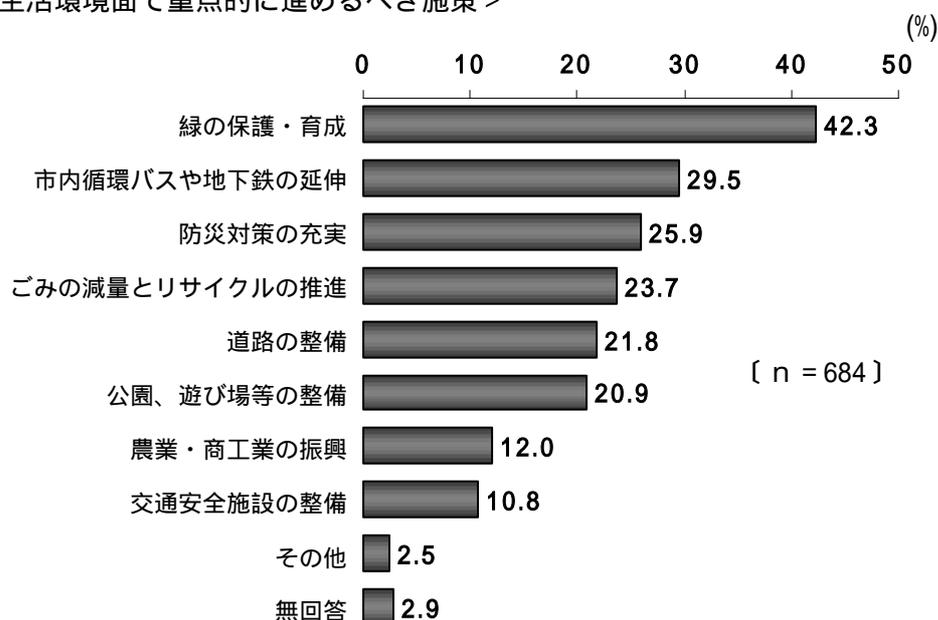
問37 あなたは今後市が重点的に進めるべき施策について、どのようなものをお考えですか。(ア)(イ)(ウ)の各項目の中からそれぞれ2つまでお答えください。

#### (ア) 生活環境面で重点的に進めるべき施策

##### 【全体】

生活環境面で重点的に進めるべき施策としては、「緑の保護・育成」が42.3%と最も高く、次いで「市内循環バスや地下鉄の延伸」が29.5%、「防災対策の充実」が25.9%と続いている。

< 図2.2-1：生活環境面で重点的に進めるべき施策 >



##### 【経年比較】

経年比較でみると、「緑の保護・育成」が、前回調査（平成14年）から引き続き1位となっている。また、「防災対策の充実」が前回においては17.0%であったが、今回は25.9%と8.9ポイント増加した。

< 表2.2-1：生活環境面で重点的に進めるべき施策：経年比較 >

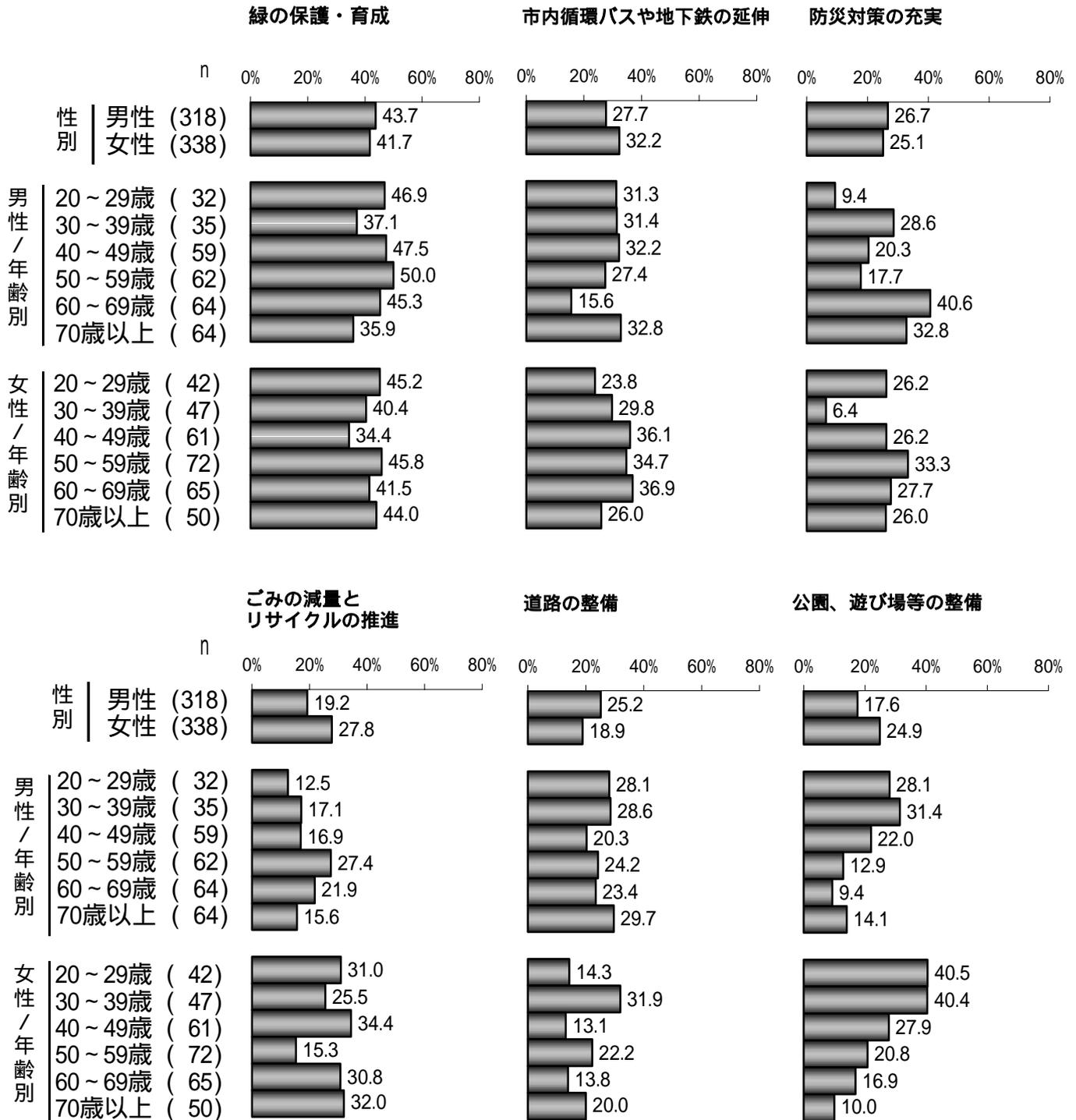
順位	平成11年 [ n = 755 ]	平成14年 [ n = 652 ]	平成17年 [ n = 684 ]
1位	ごみの減量とリサイクルの推進 50.2	緑の保護・育成 43.9	緑の保護・育成 42.3
2位	緑の保護・育成 36.0	ごみの減量とリサイクルの推進 27.1	市内循環バスや地下鉄の延伸 29.5
3位	市内循環バスや地下鉄の延伸 24.1	市内循環バスや地下鉄の延伸 26.7	防災対策の充実 25.9

【性別・性・年齢別】

性別では、特に大きな差異はみられない。

性・年齢別で見ると、「緑の保護・育成」は男性の50歳代が50.0%で最も高くなっている。また、「防災対策の充実」は男性の60歳代が40.6%と他の性/年齢層に比較して高くなっている。

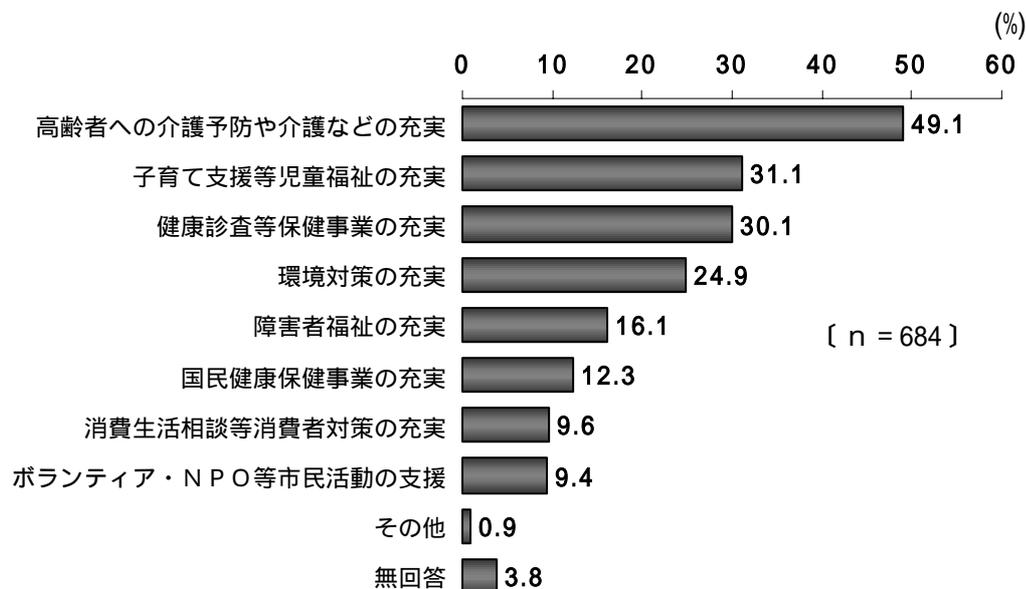
<図2 2 - 2 : 性別・性/年齢別>



**(イ)市民へのサービス面で重点的に進めるべき施策****【全体】**

市民へのサービス面で重点的に進めるべき施策としては、「高齢者への介護予防や介護などの充実」が49.1%と最も高く、次いで「子育て支援等児童福祉の充実」が31.1%、「健康診査等保健事業の充実」が30.1%と続いている。

< 図 2 2 - 3 : 市民へのサービス面で重点的に進めるべき施策 >

**【経年比較】**

経年変化でみると、「高齢者への介護予防や介護などの充実」が、前回調査(平成14年)は59.4%であったが今回調査では49.1%と10.3ポイント減少した。また、「環境対策の充実」が前回では30.8%であったが、今回では24.9%となり5.9ポイント減少した。

< 表 2 2 - 2 : 市民へのサービス面で重点的に進めるべき施策：経年比較 >

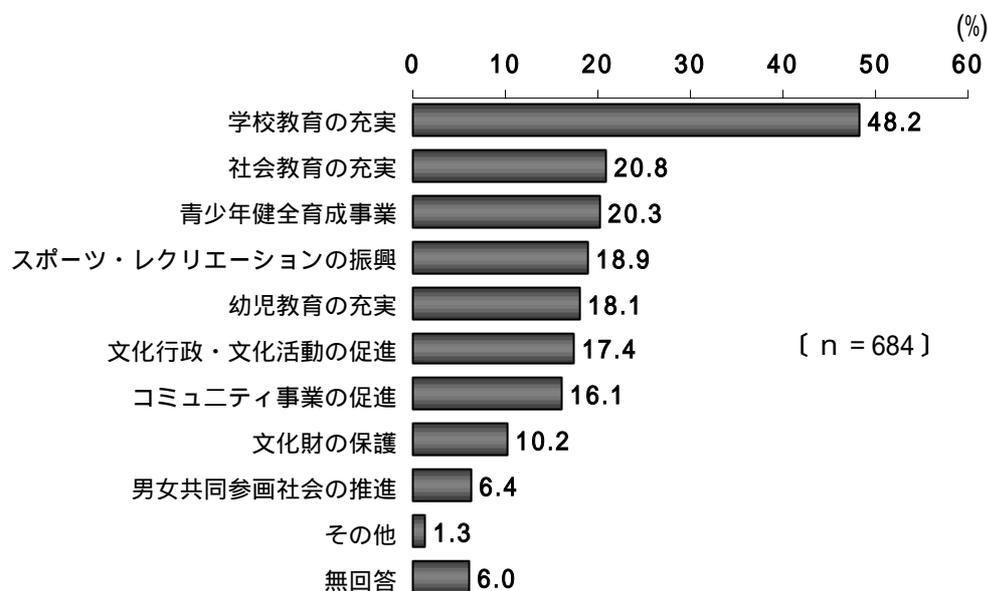
順位	平成11年 [ n = 755 ]	平成14年 [ n = 652 ]	平成17年 [ n = 684 ]
1位	高齢者への介護予防や介護などの充実 55.2	高齢者への介護予防や介護などの充実 59.4	高齢者への介護予防や介護などの充実 49.1
2位	環境対策の充実 35.1	環境対策の充実 30.8	子育て支援等児童福祉の充実 31.1
3位	国民健康保険事業の充実 19.5	健康診査等保健事業の充実 28.5	健康診査等保健事業の充実 30.1



**(ウ)生涯学習・地域活動面で重点的に進めるべき施策****【全体】**

生涯学習・地域活動面で重点的に進めるべき施策としては、「学校教育の充実」が48.2%と最も高く、次いで「社会教育の充実」が20.8%、「青少年健全育成事業」が20.3%と続いている。

&lt; 図 2 2 - 5 : 生涯学習・地域活動面で重点的に進めるべき施策 &gt;

**【経年比較】**

経年変化でみると、「学校教育の充実」は、前回調査（平成14年）及び前々回調査（平成11年）と順位は変わらないが、前回調査と比較すると8.3ポイント増加した。他方、「社会教育の充実」も順位は変わらないが、前回調査と比較すると9.7ポイント減少した。

&lt; 表 2 2 - 3 : 生涯学習・地域活動面で重点的に進めるべき施策：経年比較 &gt;

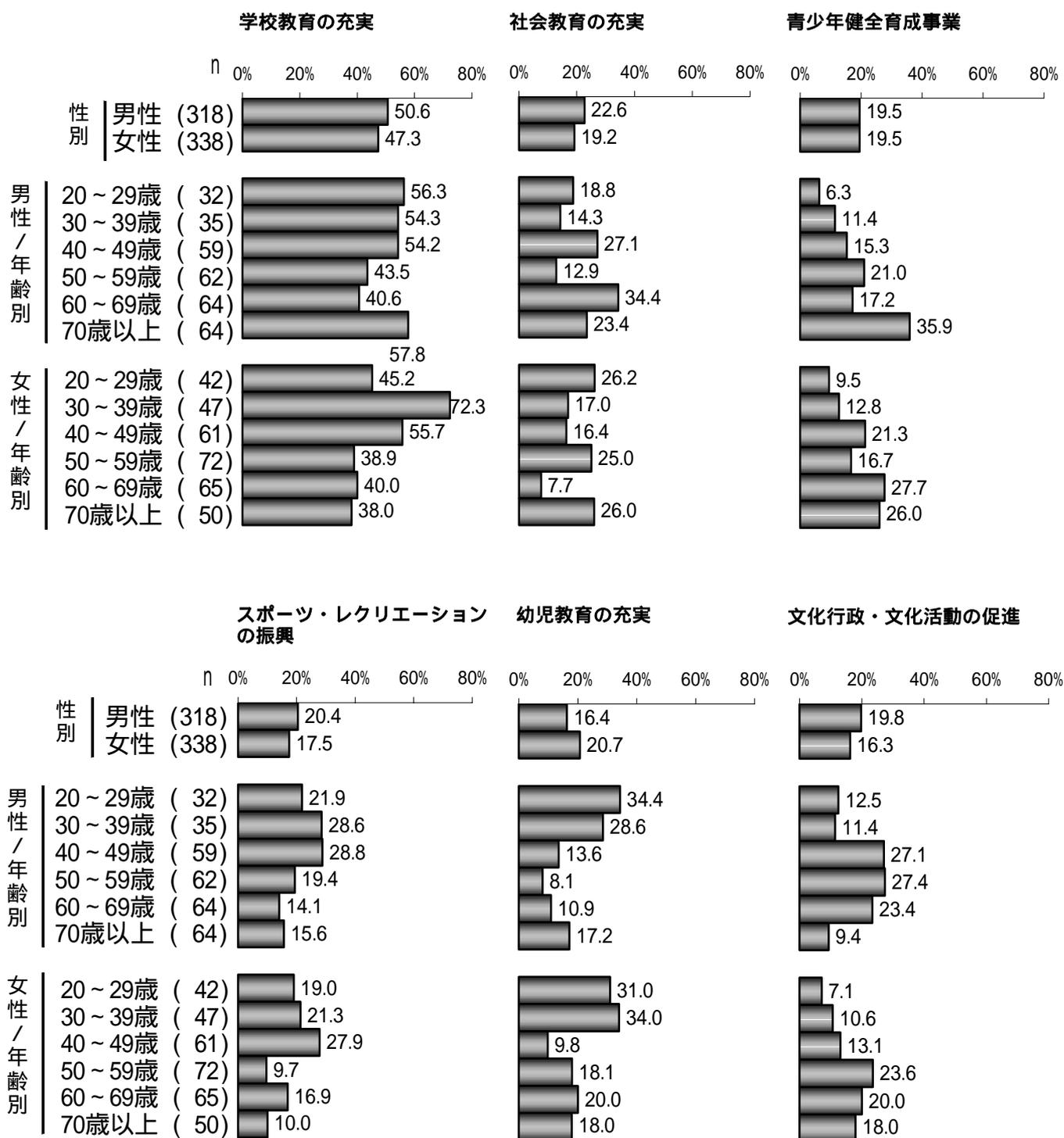
順位	平成11年 [ n = 755 ]	平成14年 [ n = 652 ]	平成17年 [ n = 684 ]
1位	学校教育の充実 41.2	学校教育の充実 39.9	学校教育の充実 48.2
2位	社会教育の充実 27.9	社会教育の充実 30.5	社会教育の充実 20.8
3位	文化行政・文化活動の充実 22.1	文化行政・文化活動の充実 23.0	青少年健全育成事業 20.3

【性別・性/年齢別】

性別では、特に大きな差異はみられない。

性/年齢別で見ると、「学校教育の充実」は女性の30歳代が72.3%で最も高くなっている。また、「青少年健全育成事業」は男性の70歳以上が35.9%で他の年齢層と比較して高くなっている。

<図22-6：性別・性/年齢別>



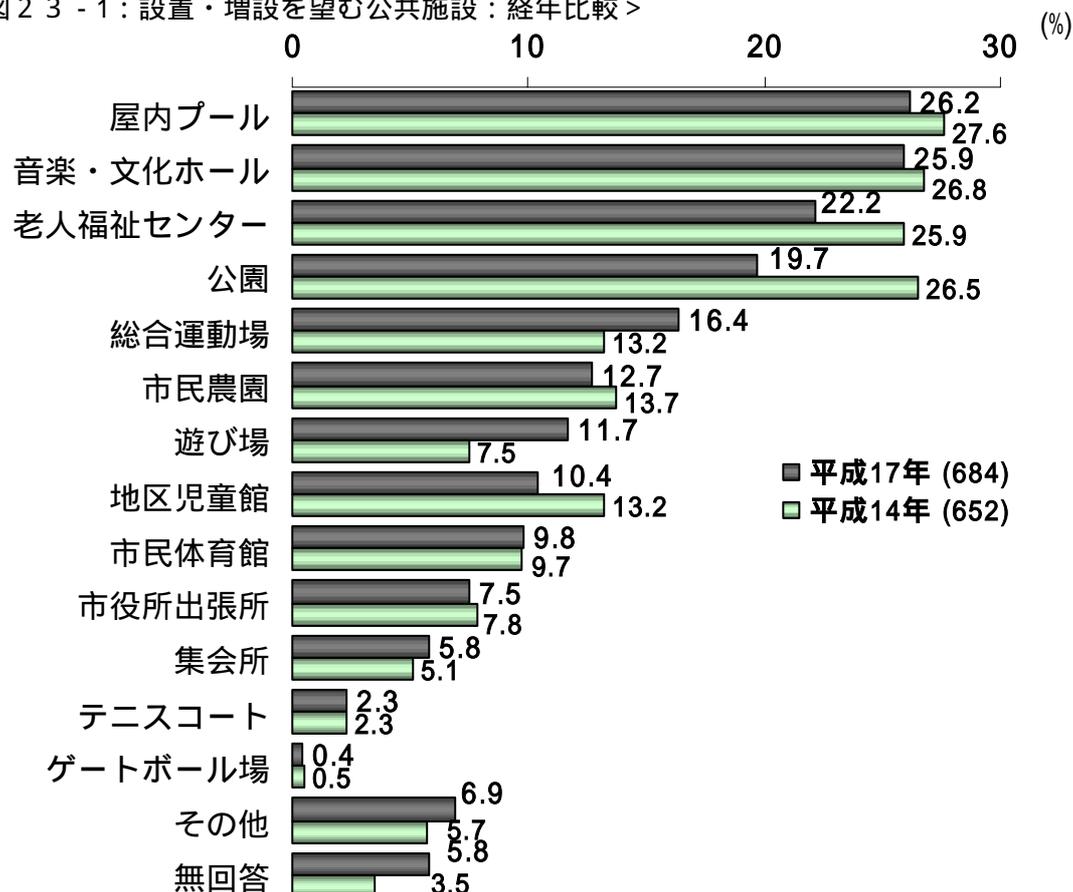
## 2 3 今後設置を望む公共施設

### (1) 設置・増設を望む公共施設

問38 あなたは、今後、どのような公共施設の設置、あるいは増設を望めますか。次の中から2つまでお答えください。

[ n = 684 ]

<図23-1: 設置・増設を望む公共施設: 経年比較>



#### 【全体・経年比較】

設置・増設を望む公共施設としては、「屋内プール」が26.2%と最も高く、次いで「音楽・文化ホール」が25.9%、「老人福祉センター」が22.2%と続いている。

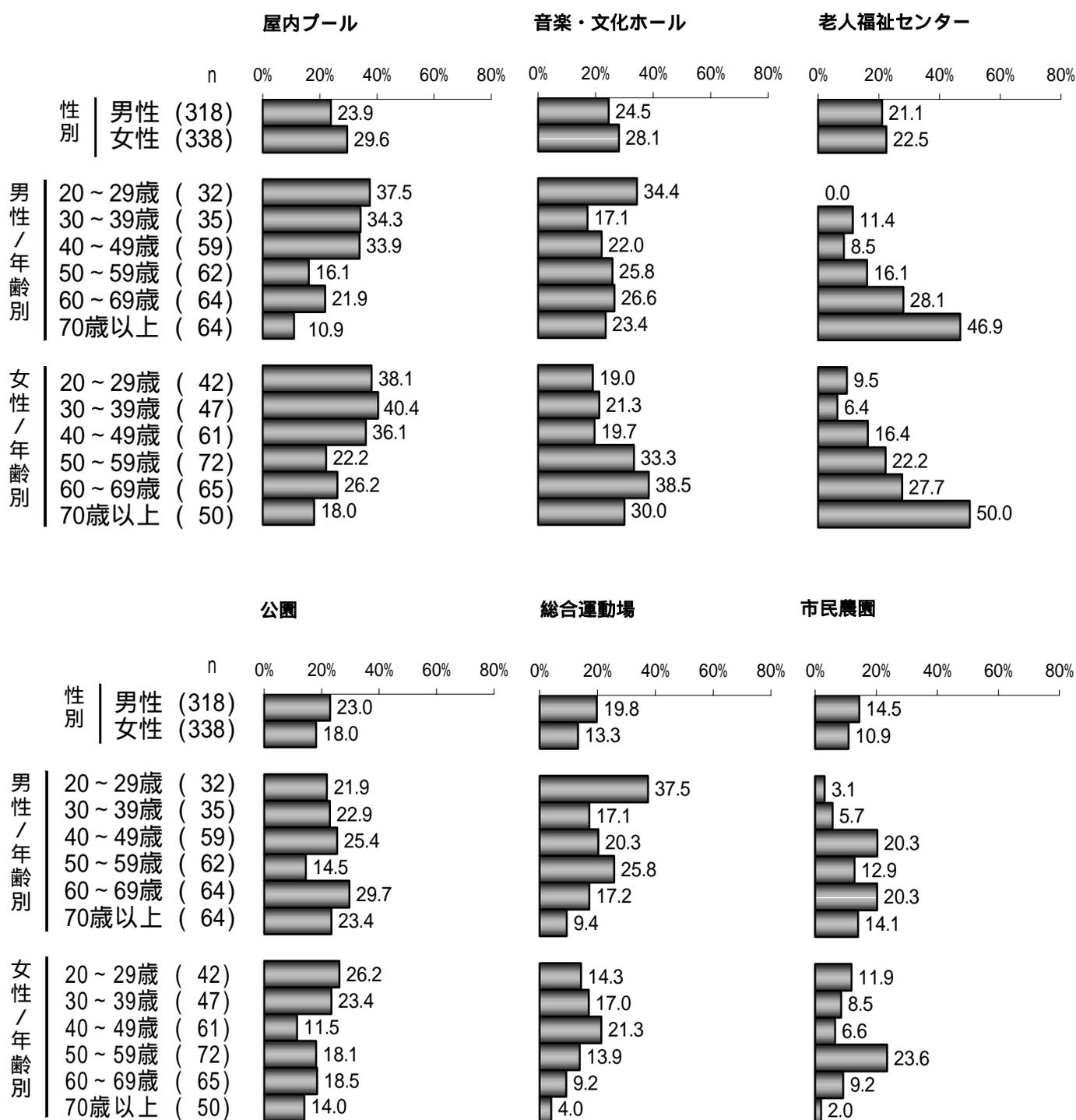
前回調査(平成14年)と比較すると、「公園」が前回調査では26.5%であったが今回調査においては19.7%と6.8ポイント減少している。

【性別・性/年齢別】

性別でみると、「総合運動場」が男性（19.8%）、女性（13.3%）となっており、男性が6.5ポイント上回っている。

性/年齢別でみると、「屋内プール」は、男性では20歳代（37.5%）が最も高く、女性においては30歳代（40.4%）が最も高い。「音楽・文化ホール」は男性では20歳代（34.4%）、女性では60歳代（38.5%）が他の年齢層に比較して高い。また、「老人福祉センター」は、男女ともに70歳以上が46.9%、50.0%と最も高く、年齢が下がるほど漸減する傾向になっている。

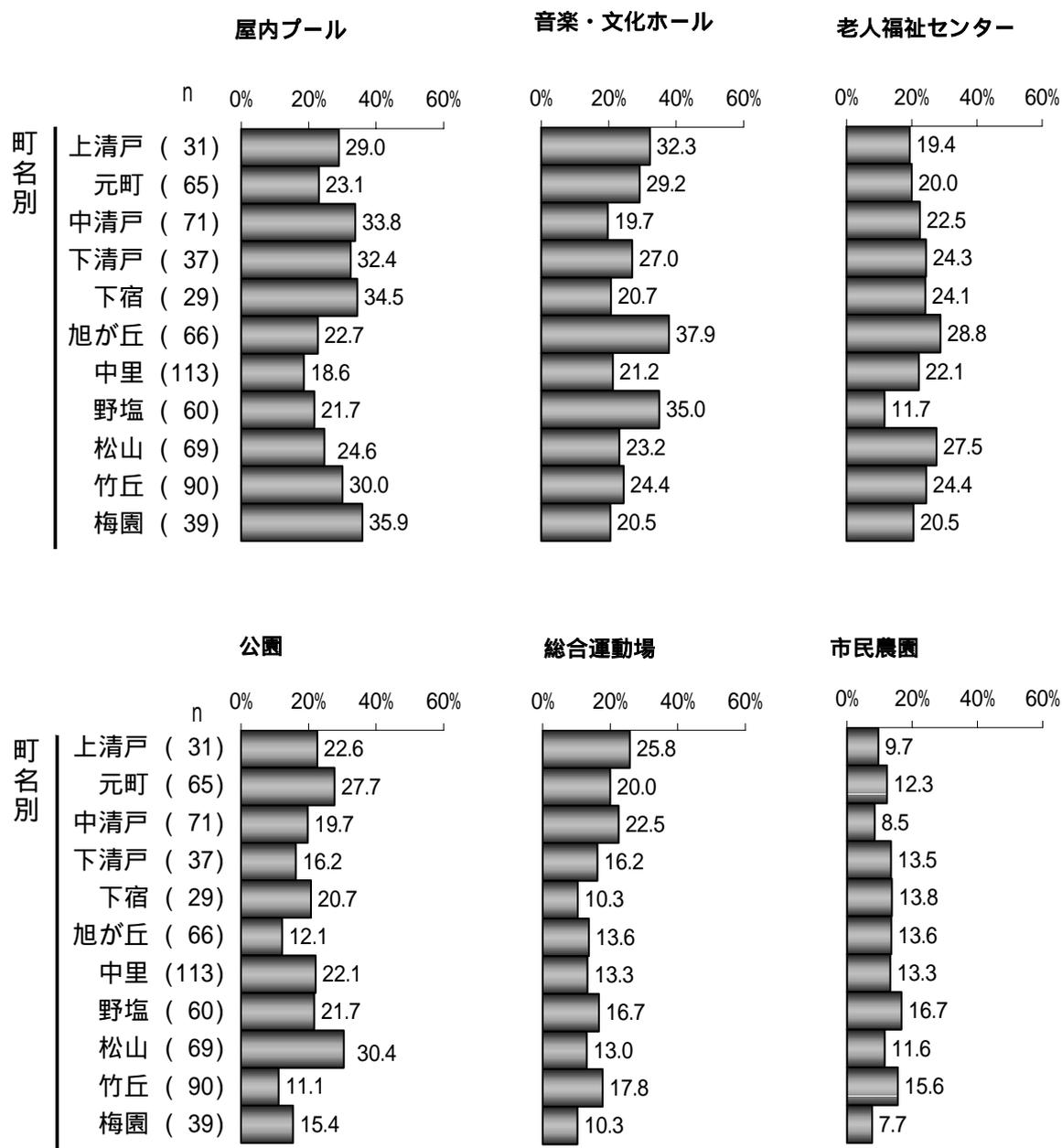
< 図 2 3 - 2 : 性別・性/年齢別：上位 6 項目 >



## 【町名別】

町名別でみると、「屋内プール」は梅園が35.9%で最も高くなっている。「音楽・文化ホール」は、旭が丘、野塩でそれぞれ37.9%、35.0%と他の町に比較して高くなっている。

&lt; 図 2 3 - 3 : 町名別 : 上位 6 項目 &gt;



## 第 11 回清瀬市政世論調査

平成 17 年 9 月

発 行 清瀬市 企画部 秘書広報課 広聴係  
清瀬市中里 5 丁目 842 番地

電話 0424 ( 92 ) 5111

集計・分析 (株)ぎょうせい

東京都杉並区荻窪 4 - 30 - 16

電話 03 ( 5349 ) 6638